

令和7年度 第1回 恵庭市安全で安心なまちづくり実行委員会

議事録

日時 令和7年5月13日（火）10時00分～11時00分
会場 恵庭市民会館2階 視聴覚室

<出席者>

会長 原田市長
委員 山谷委員、出村委員、北林委員、杉若委員、久保委員、田中委員、茶園委員、
菊池委員、奥寺委員、吉田委員、井上委員、高野委員、山本委員
事務局 茅野生活環境部長、狩野生活環境部次長、桑原生活環境課長、
中村生活環境課主任主事、加賀谷生活環境課主査（議事録作成）
傍聴者 1名

1 開会宣言（桑原課長）

2 委嘱状の交付

人事異動等の理由により、新たに委員となった6名に委嘱状交付

3 会長挨拶（原田市長）

ただいま新たに委員なられた皆さまに委嘱状を交付させていただきました。どうぞ、これからも宜しく願いいたします。

毎年、この時期にこの安全で安心なまちづくり実行委員会を開催させていただいております。この実行委員会は、「恵庭市安全で安心なまちづくり推進計画」という5年計画を令和3年に策定しておりまして、今年度がこの推進計画の最終年度となっております。

また、令和8年度からの5カ年計画を策定する年度でもあります。

これまでの「恵庭市安全で安心なまちづくり推進計画」に基づいて、毎年度、本日ここに出席されている皆様をはじめ、多くの団体の皆様にご支援・ご協力をいただいております。

交通安全に関しましては、町内会や学校、企業の皆様による交通安全指導など様々な運動を通じて交通事故防止にご尽力をいただいております。後ほど本日出席いただいております警察の方からお話をお願いしたいと思っておりますが、死亡事故ゼロ日数については、恵庭市では昨年1月に死亡事故が発生して以来、500日を迎えようとしているところであります。

全道的には今年度、大変雪解けが早かったこともあり事故が多く発生しておりますが、恵庭市では発生件数は減少している状況であり、今後もしっかりとした対策が必要であると考えております。

また、特殊詐欺被害や消費者協会への相談も多くある状況にあり、全国的には市役所職員や警察官を名乗った詐欺事件も多く発生しております。

こうした状況にある中で恵庭市民の生活をしっかりと守っていかなければなりません。

そのために「恵庭市安全で安心なまちづくり実行委員会」を位置付けております。

今年度の方針等が議題としてあがっておりますので、皆様からのご意見をいただきながら今年度も安全で安心して過ごすことができる恵庭のまちをつくって参りたいと思ってお

りますので、ご支援・ご協力を賜りますよう心からお願い申し上げまして、私からの挨拶とさせていただきます。本日は、宜しく願いいたします。

4 委員および事務局員の自己紹介（各委員、事務局員）

5 議 事

1) 副会長の選出について（原田会長）

⇒ 皆さんから副会長の選任について、何か良い方法はありませんか？

・特になし

⇒ 恵庭市安全で安心なまちづくり実行委員会設置規則第4条第2項の規定により、会長が副会長に北林氏を指名。

2) 令和7年度推進方策及び具体的な施策について（加賀谷）

⇒ 資料3のとおり説明。

⇒ 資料4は新たな事業、変更した事業等、主だった内容（赤字）を中心に説明

【 質 疑 】

原田会長：

自転車用ヘルメットに関する事業について、詳しく説明をお願いします。

中村（事務局）：

自転車用ヘルメット普及促進モニター事業について、本年4月1日から30日までの募集期間とし、申込みの上限である25名に対し31名の申込みがありました。よって、抽選のうえモニターになっていただく方を選出いたしました。

今後、ヘルメットを配布し、モニターとして啓発活動やセーフティーコールといった交通安全運動に参加していただく予定となっております。

桑原（事務局）：

自転車用ヘルメット購入費助成事業について、本年5月1日から申請の受付を開始いたしまして、小学生以下の児童を対象として100件を予定しております。今年度から開始した事業でもあり、想定よりも多くの申請があり、今後、さらに助成枠を増やすなどの検討を考えております。

原田会長：

申請が想定より多くあったということでもあります。

特に小学生がスポーツ少年団に通うときや様々な野外活動をするときにヘルメットを着用するよう是非、この助成の活用をおすすめしていただきたいと思います。

既に予定数を超過してしまいましたが、今後、新たに予算措置を行って参りますので多くの方に申請いただき、恵庭の子供たちは自転車に乗るときにヘルメットを着用しているというような状況になると良いと思います。

是非、それぞれの機関で推奨していただきたいと思います。

3) 「恵庭市安全で安心なまちづくり推進計画」策定スケジュールについて（加賀谷）

⇒ 資料5のとおり説明。専門部会を立ち上げ次期推進計画を策定するため、各分野より計6名の専門部会委員を選出（当日配布資料参照）

6 その他

【千歳警察署より恵庭市の犯罪発生状況・交通事故発生状況などについて説明】

山谷委員(恵庭交番所長)：

はじめに、本日ここにお集まりの委員の皆さまには日頃から恵庭市の交通安全、さらには安全で安心なまちづくりにご協力いただくとともに、警察活動各般にわたりご協力・ご支援を賜り御礼・感謝を申し上げます。

恵庭市の昨年1年間の犯罪発生状況や交通事故発生状況、詐欺や特殊詐欺の発生状況につきましては、先ほど事務局から説明があったところであります。

私からは今年1月から4月末までの事件・事故の発生状況などについて、簡単に説明をさせていただきます。

まず、今年に入り恵庭市内で発生した大きな事件としまして、4月13日に恵み野地区の高齢者住宅で入居者同士のもめ事から発生した刃物を用いた殺人未遂事件と4月23日に発生した10代の未成年者が被害者となった誘拐事件の2件であり、これらの事件につきましては、迅速な捜査から被疑者を逮捕しており現在までに解決しております。

殺人事件の被害者につきましては、軽傷、誘拐事件の被害者につきましては怪我も無く、無事に保護されております。

次に、恵庭市全体の刑法犯の今年の認知件数につきましては、4月末までに92件と前年対比で増加傾向にあります。毎年被害が多い自転車の盗難につきましては、今年も春先から多く発生しており、発生場所も特にJR3駅(恵庭・恵み野・島松)の自転車置き場での被害が例年とかわらず多く発生している現状であり、被害の半数以上が無施錠の状況となっております。

札幌の自転車置き場では自転車本体の鍵とU字ロックもしくはチェーン錠でのツーロックがされております。2年前に恵庭市内のJR駅の自転車置き場を確認したところ半数ほどが無施錠の状況であり、その後、毎年自転車盗の広報活動を実施しております。昨日も施錠状況を確認しましたが以前よりは良くなっているがまだまだ施錠されていない自転車もある状況であります。今後、皆様には様々な活動を通して自転車の鍵をかけるよう啓発・広報をお願いいたします。

交通事故につきましては、昨年、年当初の1月16日に北柏木町での単独事故で高齢者が亡くなって以来、本日まで恵庭市で1年4か月、数えて483日の交通死亡事故死ゼロの日が続いております。

本年の交通事故の概要につきましては、人身事故の発生件数が4月末で36件であり、前年対比でマイナス10件、負傷者数が39人であり前年対比でマイナス16人と発生件数が大きく減少しております。昨年、一時的に交通事故発生件数が増加しましたが、今年は大きく減少しており、大変良い状況となっております。

合わせて自転車乗車用ヘルメットの着用率を上げるべく市民に注意喚起を行うとともに、飲酒運転やスマホを見ながら自転車を運転する「ながら運転」の取り締まりを強化して参りたいと考えております。

自転車乗車用ヘルメット着用率につきましては、昨年、北海道で10%弱でしたが、現在18%弱と若干上昇しております。しかしながら、愛媛県では70%を超えている状況となっております。北海道では自転車乗車時のヘルメット着用が根付いていないという状況にあることから、我々警察官も日頃からパトロールの際に自転車乗車時にヘルメットを着用していない者については、声掛けを行っていきたくと考えております。

次に特殊詐欺被害につきましては、全国的にも特殊詐欺被害額が非常に大きくなっております。北海道でもニュースや新聞報道で見ない日がないほど多くの被害が発生しております。

千歳署管内の自転車盗の現状、特殊詐欺の最近の手口、被害状況について千歳警察

署生活安全課よりご説明をさせていただきます。

出村委員(千歳警察署生活安全課長)：

私からは自転車盗について深堀してお話しさせていただきたいと思います。

窃盗犯につきましては、ほぼ自転車盗または万引きとなっており、本日現在で千歳警察署管内で79件の自転車盗が発生し、うち53件ほどが無施錠であることから半数以上が無施錠の状況となっております。53件のうち36件が恵庭市で発生し、うち25件が無施錠の状況であることから7割から8割が無施錠の状況となっております。昨年の状況については、昨年5月末現在で千歳署管内での自転車盗状況は51件で、うち19件が恵庭市で発生し15件が無施錠の状況となっております。

まずはワンロック、鍵をかけなければならないという教育が必要となっております。

20年前は盗んだ自転車をそのまま使用することが多かったため自転車に乗っている犯人を捕まえることが多かったが、最近では近距離移動を行ってそのまま乗り捨てられる場合が多く、乗り捨てられた自転車があるとの通報を受け、防犯登録を確認し、自転車を持ち主に返却するというものが増えております。全道的にも自転車の無施錠率は6割くらいとなっております。

今後、恵庭市内の中学校以上の学校1校1校を訪問させていただき、自転車から離れるときは鍵をかけるというご指導を学校やご家庭でもお願いと思っております。駅は通勤・通学などで自転車を止める場所として使われております。安全で安心なまちづくりというものは何もしないで得られるのではないことから、自己防衛という手段としてワンロックを、鍵をかけても盗まれる場合もあるためその場合はツーロックをお願いいたします。ツーロックを行う際は固定されたものに結束することによって犯人に時間と手間をかけさせることができます。

是非とも各委員の皆さまにも会合等がありましたら、このようなお話をさせていただきますようお願いいたします。

また、恵庭市の高齢化率は28.84%、千歳市は平均年齢が44歳となっており、他の都市から見ても若い人が住んでいるまちとなります。北広島市ではエスコンができ、周辺に住まわれる方が増えております。千歳市ではラピダスという半導体の大きな工場が造られ、一気に地価が上昇しアパートも高騰している状況となっております。恵庭市ではその拠点として選ばれ、さらに発展していくことは確実に予想されますが、このように発展するまちは犯罪者に狙われやすい場所にもなりえます。まず基本的な自転車の鍵かけもですが、住宅の施錠もお願いいたします。

本日配布させていただきましたが、北海道警察の防犯アプリ「ほくとポリス」というものがありまして、防犯メールとも連動しており、全道で発信された防犯メールも確認することが出来ます。窃盗犯罪や声掛け事案の発生場所も地図で表示されますので防犯パトロールの際も活用いただけます。

近郊で発生している犯罪情報も確認できることから犯罪の予兆を確認することも可能となっております。ご自身が必要とする情報を取得できますので是非とも登録をお願いいたします。

千歳警察署としても自転車盗には重点的に力を入れて参りたいと考えておりますので、どうぞご協力をお願いいたします。

自転車盗の関係につきましては、以上とさせていただきます。

佐々木(千歳警察署生活安全課)：

私からは特殊詐欺について簡単にお話しさせていただきます。

最近のニュースでも報道されておりますが、最近ではSNSを用いた投資詐欺やロ

マンス詐欺が多く発生しております。投資詐欺では投資を行うためのお金を振り込ませ、ロマンス詐欺では異性関係で仲良くなり結婚しようなどの名目でお金を振り込ませる手口となっております。世の中が便利になり簡単に連絡取れる手段を利用して詐欺行為が行われておりますので注意願います。

そのほか警察官語りや国際電話からの電話、末尾が110番の番号からかかってくる電話、警察庁や裁判所などからの連絡を装う手口もあります。

警察や末尾が110番から電話がかかってくる信じて、一旦電話を切りご自身で確認や警察の相談ダイヤル#9110を利用するなどし、一人に対応せず、ご家族や周辺の人などと共有しお互いに防犯意識を高めていただきたいと思います。

資料に特殊詐欺の発生件数が記載されておりますが、相談も含めるともっと多くの事案が発生しております。各関係機関の方につきましては、警察官語りの詐欺やSNSを利用した詐欺も流行っておりますので、今一度気を付けていただきますようお願いいたします。

原田会長：

ありがとうございます。

他に発言等がなければ、以上で令和7年度 第1回 安全で安心なまちづくり実行委員会を閉会いたします。

～閉 会～